

高校生が福祉工場見学

しんわルネッサンスで学ぶ

社会福祉法人進和学園が運営する障害者就労支援事業所「しんわルネッサンス」の福祉工場で10月13日、秦野曾屋高校の3年生6人が、同施設利用者の作業を見学した。

社会福祉基礎の授業の一環で訪れた生徒たちは、同施設での取り組み



説明に聞き入る生徒ら

を学んだ後、自動車部品の組み立て作業やエアバッグをリサイクルしたエコバッグの制作作業を見学。ゴムチューブにクリップをつける細かい作業を丁寧に進める姿に、生徒らは感心しながら見入っていた。

同校と進和学園は13年前から交流があり、授業や文化祭などで交流してきたが、コロナ禍の影響で工場見学は4年ぶり。見学を通して農福学連携を学んだ生徒らは「障害のある人が働く場合、多くの壁があると思うけれど、集中して働いている姿を見て刺激を受けた」と話した。